

(市川市PTA連絡協議会研究大会報告書)

第2分科会 テーマ Tの求めるPの姿(中学校教員) 司会 PTA連絡協議会副会長(新浜小)

<発表内容>

第2分科会会場では、「Tを求めるPの姿」をテーマに、中学校教員による研究討議が行われました。

研究討議の内容は「ブレイン・ストーミング」ということで、本来のブレイン・ストーミングの幾つかある手法の中の「親和図法」という手法で行いました。

「親和図法」とは、バラバラの情報やアイデア、漠然としてはっきりしない問題を、言葉の意味合いの親和性によってグループ化・図式化することにより、問題の所在や本質を明らかにする方法。

手順は、特定のテーマに関して多様な考えを言葉として提出し、それらをカードや付箋紙などに記入する。そのカードを見て、関連性・親和性を感じさせるカードを直感で並べていき、その集めた理由を記入した見出しカード(要約カード)を作成する。見出しカードで同じ作業を繰り返し、カード数を適度にへらしたところで、カードを台紙などに配置し、枠線などを書き込んで図として表す。

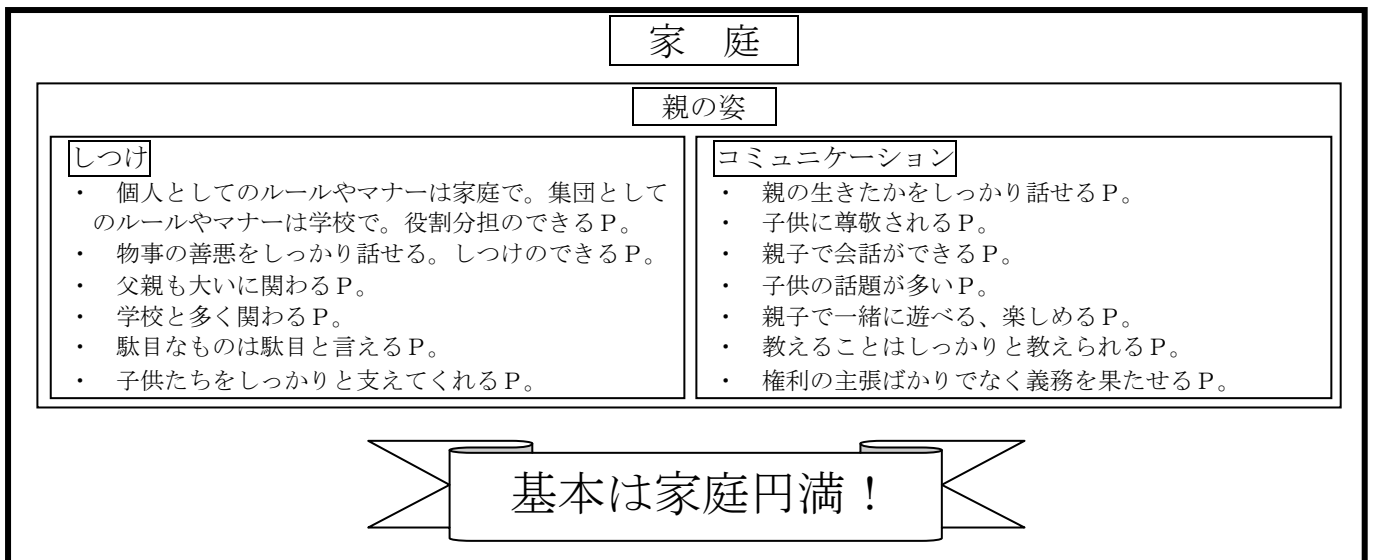
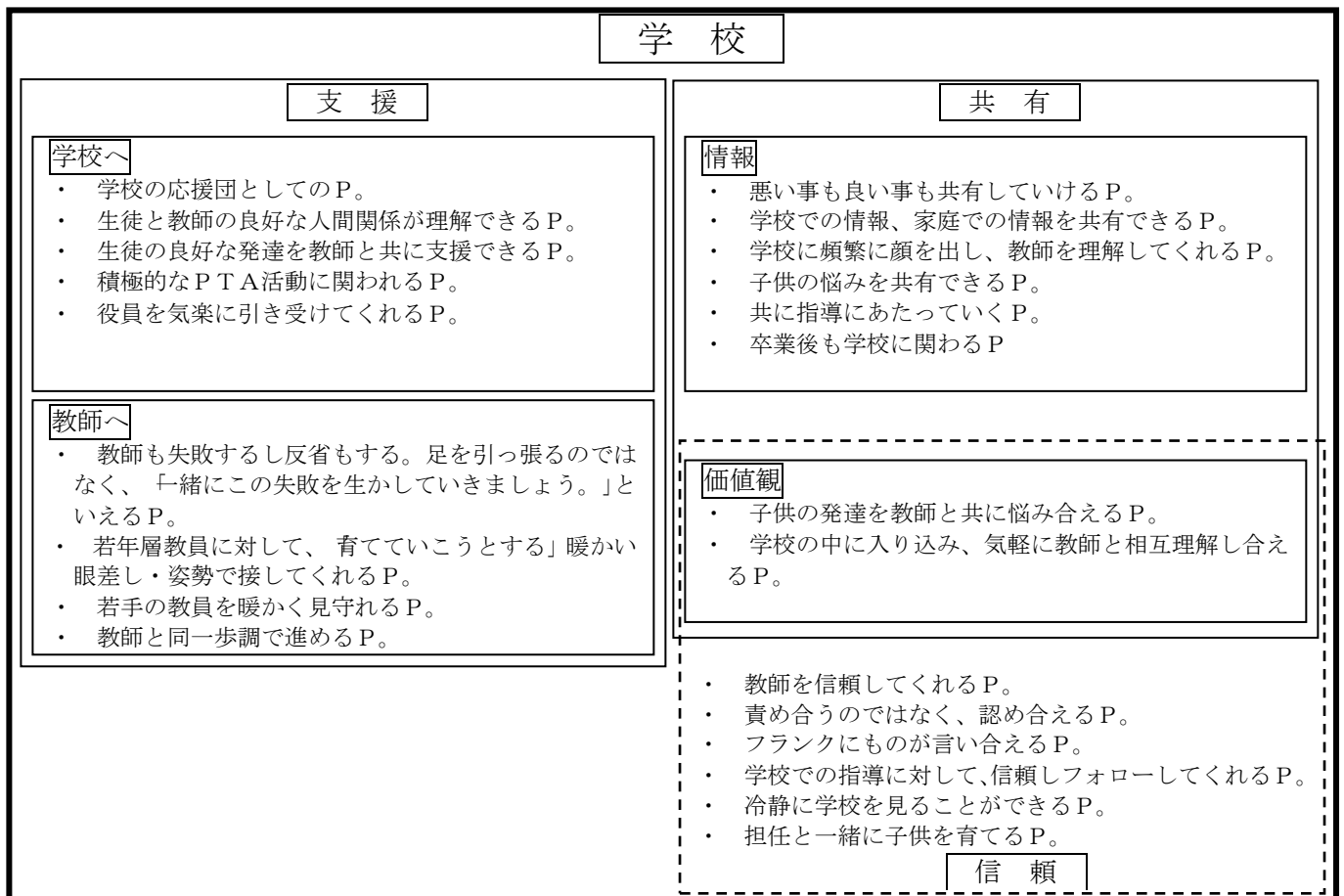
その図を参照しながら、最終的に文書を作成する。

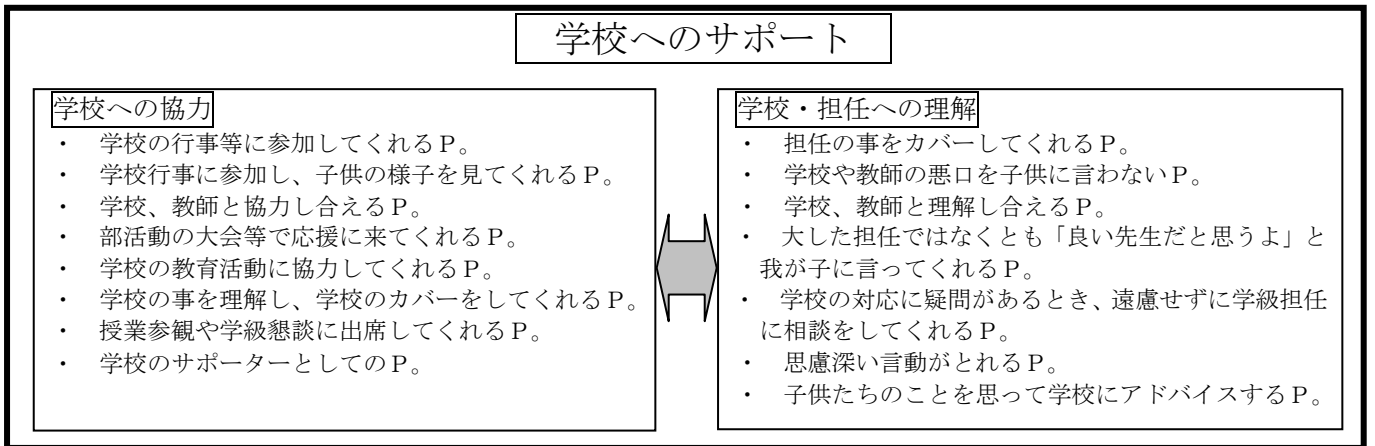
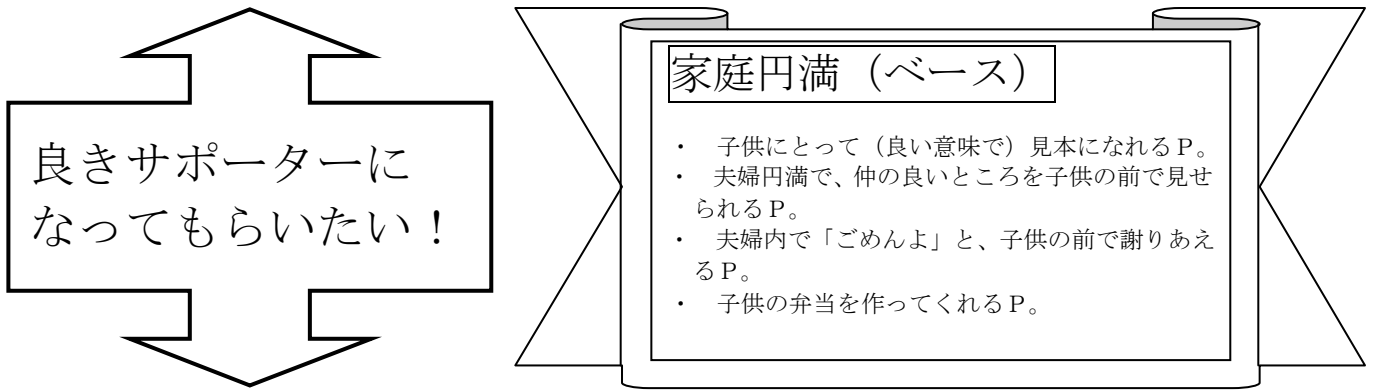
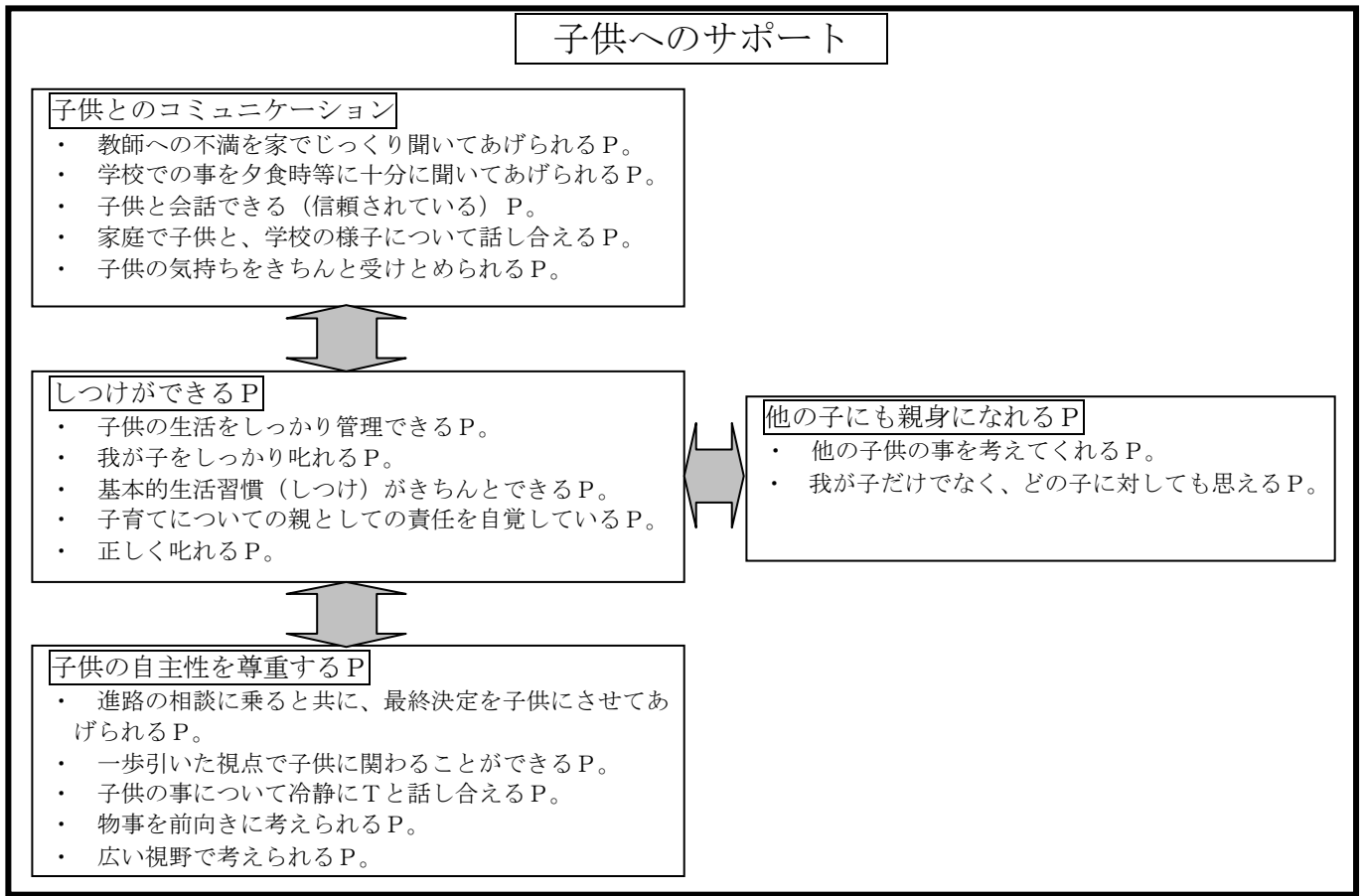
この分科会会場では、17名の中学校校長&教頭先生を3つのグループに分けて、ブレイン・ストーミングを行う。

校長先生・教頭先生が一心不乱に意見をカードに書き出す姿や、和気あいあいとカードをグループ化する姿は、とても新鮮でもあり教育にかける熱意が伝わってきました。また作業がとてもスピーディーで、やはり上に立つ人は流石だなと感心させられました。

次頁より、各グループの結果を図式のまま報告させていただきます。

第1グループ





第3グループ

共に育てる

教師との信頼関係

- ・ Tとの連携ができるP。
- ・ 教師と一体となって子供を見守れるP。
- ・ 信頼関係を築けるP。
- ・ 特に若手の教員を暖かく見守ってくれるP。
- ・ 批判より協力、プラス思考のできるP。
- ・ 話し合いができるP。

相談

- ・ 心配していることを素直に相談に来るP。
- ・ 悩みに思っていることを相談してくれるP。

資質

- ・ 教員にはない発想とアイデアを持つP。
- ・ 多方面からものごとを考えられるP。
- ・ 生徒、教員と笑顔で接し、心のこもった挨拶ができるP。
- ・ 芸達者なP。
- ・ 心の広いP。
- ・ 仲の良い家庭をつくるP。

協力！

P同士

- ・ モンスターペアレントを退治してくれるP。
- ・ P同士が仲良くできるP。
- ・ 他のPの意見(要望)を、うまくまとめて吸い上げてくれるP。
- ・ P同士の協力をしてくれるP。

学校

- ・ 学校の目指すところ(教育目標、方針)を理解してくれるP。
- ・ ボランティアの意識が高いP。
- ・ 部活動に協力してくれるP。
- ・ 学校行事に積極的に参加してくれるP。
- ・ P T Aの役員を受けてくれるP。
- ・ 学校全体を支えてくれるP。
- ・ 教育活動を理解し、協力してくれるP。
- ・ 学級活動、P T A活動に協力してくれるP。
- ・ 懇談会等に積極的に参加するP。

子供への対応

- ・ 自分の子供以外の子も、叱ったり愛したりできるP。
- ・ 我が子に対して基本的なしつけができるP。
- ・ 自分の子供としっかり向き合えることができるP。
- ・ 子供の意見は尊重するが、鵜呑みにせず大人として対処できるP。
- ・ 自分の子供に対し守りにならない(かばうことをしない)P。
- ・ 子供を教員と共に育てようとするP。
- ・ 我が子を冷静に見られるP。

地域

- ・ 地域の情報をたくさん持っているP。
- ・ 同窓会や地域活動を、中心になって運営してくれるP。
- ・ 地域を大切にするP。